

総合学科3年「自然科学演習」の授業のようす ～ブタの眼球を使って、眼球の構造を観察しました～

1月13日（金）に、総合学科3年「自然科学演習」の授業で、ブタの眼球を使って、眼球の構造について学習しました。学習内容は、生物の視覚器「ヒトの眼の構造」で、理科の非常勤講師の内村先生が担当しました。

初めに、先生が、「眼球の観察方法」「眼球の構造」についてプリントを配布し、本時の目標などを説明しました。その後、モニターで、ブタの眼球の解剖方法や注意点を説明しました。

先生の説明後、生徒が2人1組で、ピンセット、解剖ハサミ、柄付き針を使用して、ブタの眼球を解剖して、角膜、水晶体、網膜、脈絡膜、強膜などを観察しました。

生徒たちは、初めは、おぼつかない手つきで作業をしていましたが、先生が机間巡視してサポートすることで、ていねいに作業を進めて、ブタの眼球の構造をしっかりと観察できたようでした。

【授業のようす】

1 実験方法の説明



2 実験方法の説明



3 解剖実験のようす



4 授業のようす

